

## ツーリズムメディエート論

|           |  |          |
|-----------|--|----------|
| 授業科目名     | ツーリズムメディエート論   | 単位数 2 単位 |
| 英語標記      | Tourism meditation   |          |
| 授業コード     | 360112   |          |
| 受講人数      | 15 人   |          |
| 担当教員      | 森栗 茂一  |          |
| 対象        | 全研究科大学院生、一部学部生、社会人 (2 名程度)   |          |
| 開講時間等     | 第 1 学期＝月曜 5 限  |          |
| 開講場所      | 豊中キャンパス：大学教育実践センター スチューデントコモンズ開放型セミナー室   |          |
| キーワード     | 豊中市、まちづくり、千里ニュータウン、まち歩き  |          |
| 授業の目的     | 〔目的〕キャンパスのある豊中市のまちづくりを座学と現地まちあるきで学び、市民に出会い、これからのまちづくりの方向を議論し、議論し考える<br>〔到達目標〕新しいまちづくりの方向を理解し考えようとする態度を学ぶ。また、その議論の方法、プロセスデザインの概要を体験的に理解する。  |          |
| 講義内容      | 1 文系が語る都市計画ではなくまちづくり、まち育て、エリアマネジメント<br>2 豊中市のまちづくりの流れ（豊中市職員）<br>3 討論（豊中市のまちづくりを考える）<br>4 豊中市のまちづくり（各協議会の議論）（豊中市職員）<br>5 討論（阪急沿線のまちづくりはこれで良いのか？）<br>6 千里ニュータウンのまちづくりの変遷（豊中市職員）<br>7 討論（千里ニュータウンは魅力的か？）<br>8-10 5/29(土曜)集合未定 10-16 時くらいを予定<br>現地まちあるきパート 1（討論したことは本当か？）<br>まずは歩いてみよう 現地を見てみよう 出会った市民に聞いてみよう<br>11 討論（歩いて発見したこと感じたことを語り合おう）<br>12-14 6/5（土曜）現地まちあるきパート 2（別な町を歩き見、聞いてみよう）<br>15 討論（別な町を歩いて発見したこと感じたこと、豊中ではこんな町になってほしい）<br>以上の順で講義をすすめる予定。状況により変更もありえる。<br>OP 12 月 18 日中之島センター（学部生発表「豊中市の町とまちづくりを考える」、院生受講） |          |
| 教科書       | なし   |          |
| 参考書       | ブログ：森栗茂一のコミュニティ・コミュニケーション  |          |
| 成績評価      | 毎回、出席カードを書き、出席と議論参加の回数、参加態度 100%。学部生は議論参加態度 80%、発表 20%）  |          |
| 履修条件・受講条件 | 全研究科大学院生、全学部生<br>（学部生は、高度職業人をめざす立場から、12 月 18 日に、議論の成果をまとめた発表を行い、院生から指摘をうけます。それに耐えられる意欲のある方を歓迎）   |          |
| その他       | 社会人の受講を歓迎します。学部生の受講を歓迎します。   |          |

科目名はツーリズムメディエート論ですが、ツーリズムはまちの良さを発見することとつながっています。諸般の事情のまちづくり議論になしますが、新しいまちづくりの方向を、皆さんと議論して模索しようという試みです。